

私たちの周囲にはねた
雄飛ヶ丘支部の活動に対し
し格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申
し上げます。昨年に支部長の大役をお任せかりま
してより一年が過ぎました。この間、自治会の皆様をはじめとして民生委員その他の方々の絶大なるご尽力により、大過なく支部活動が推進できましたことを深く感謝申し上げる次第です。

平素は社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部の活動に対し格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申しあらゆる人々が生活を共にしています。この人々を自分たち健康な者といつしょに社会生活が送れるようにお互いに助け合っていきたいと思っています。

本年度は市の社協より当支部がモデル推進支部としての指定を受け、今まで以上に地域に根付いた福祉活動を実践していくことをしたいと考えておりますので、今後とも地域福祉の充実向上に更なるご協力を賜りますようお願い申し上げる次第で

支部長 多和田英夫

平素は社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部の活動に対し格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申しあらゆる人々が生活を共にしています。この人々を自分たち健康な者といつしょに社会生活が送れるようにお互いに助け合っていきたいと思っています。

本年度は市の社協より当支部がモデル推進支部としての指定を受け、今まで以上に地域に根付いた福祉活動を実践していくことをしたいと考えておりますので、今後とも地域福祉の充実向上に更なるご協力を賜りますようお願い申し上げる次第で

ごあいさつ
ゆうひ
平成九年度第1号

発行 社協雄飛ヶ丘支部
発行日 平成9年5月30日
発行者 支部長多和田英夫

支部社協総会を開催

四月二十日（日）、平成9年度の支部社協の総会を開催しました。市社会福祉協議会から川嶋常務理事さんにお越し下さいまして、議事に入りました。

本年度はモデル推進支部として活動するに当たります。これまで二・三の新しいメニュー事業も計画いたしました。これを実施するためには、会員の皆様の絶大なご協力なくして到底推進することができません。

末尾に総会資料を掲載させていただきましたので、ご精読いただきましてよろしくお力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

これからボランティア活動をはじめたい人は・・・

- 具体的なボランティア活動-
- ①相談・交流 ②身のまわりのお世話
- ③食事サービス ④外出手集域
- ⑤技術ボランティア ⑥収集域
- ⑦募金活動 ⑧地介活動

各務原市ボランティアセンターへ
市社協事務局内 ☎83-7610まで

支部社協とは

思いやり、助け合いの福祉の心で温もりとやすらぎのある福祉のまちづくりを推進している社会福祉協議会では現在、自治連合会を単位に17の支部社協が組織されています。雄飛ヶ丘支部社協もその一つです。

支部社協では、より身近な地域において「今どのような福祉の課題」があり、その福祉の課題をどのように解決したらよいのかを地域の皆さん一人一人が関心を持つことからはじまります。

支部社協は、このような住みよい社会をめざして住民が自主的に参加できるよう結成された組織であり、地域による福祉活動の拠点なのです。

支部社協がめざす基本目標

1. 住民同志の思いやりと助け合いの福祉の心を広める。 (福祉教育の推進)
2. 地域の福祉課題を発見し、地域住民や関係者に状況を知らせ、その解決に向けて住民の自主的な参加による福祉活動を活発にする。 (住民主体による福祉活動)
3. 組織や財源の安定的確保やボランティアの掘り起こしなど支部社協の基盤強化を図る。 (組織・財源の基盤強化)

この基本目標を達成するために次の3つの事業を推進します。

- ①福祉の心を育てる事業
- ②福祉の輪を広げる事業
- ③支部社協の基盤を強化する事業

支部社協の財源は?

支部社協ってなあに?

社協は、一民間団体ですので自主財源の確保が必要となります。社協では、毎年8月に自治会を通じて会員募集と会費の納入を行っています。

市社協からの交付金やメニュー事業助成金は、

①支部交付金

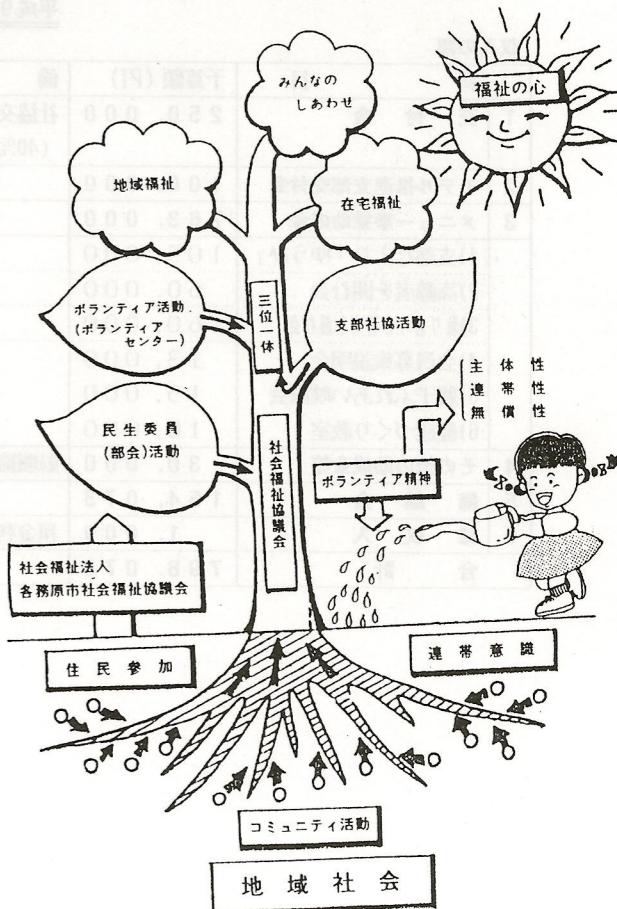
市社協が毎年募集する会費のうち支部の一般会費・特別会費の納入実績額の40%が支部へ交付されています。支部交付金は、支部の福祉活動に充てるものです。

②モデル推進支部交付金

先進的な事業への取り組みや委員会活動などの組織強化の推進に積極的に展開している支部を、モデル推進支部として指定します。この指定期間は、原則として2ヶ年とし、1支部年額100,000円の活動費が交付されます。

③メニュー事業助成金

各支部社協において地域に即した福祉活動に幅広い取り組みを展開するため、市社協から「支部社協助成対象メニュー事業」として、事業に関わる相談や経費などについて側面的に援助や助成がおこなわれます。



ひとり暮らし老人と語る会

去る三月六日（木）、
八年度の最終行事として
「ひとり暮らしの老人と
語る会」を開催しました。

当日は約六十名の皆さん
のご参加をいただき、
前日より女性民生委員の方々やボランティアの皆さんによる心のこもった
昼食を賞味いただきました。

昼食の後、ボランティ
ア出演による楽しい踊り、
マジック、三味線演奏等
により午後のひとときを
楽しんでいただきました。
お食事にご尽力いただき
ました皆さん、ボランティアでご出演いただきま
した皆さん、紙上をお借
りしまして厚くお礼申し
上げます。ありがとうございました。



ボランティア出演による踊りも披露

心のこもった料理を楽しんでいただきました

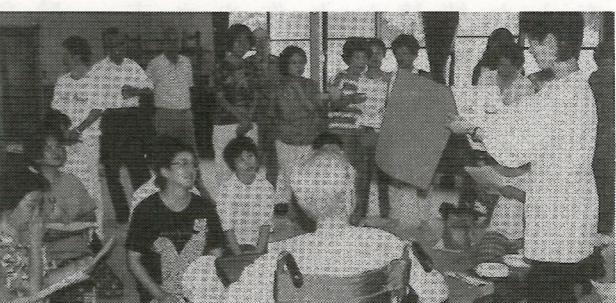
-平成9年度社協雄飛ヶ丘支部役員名簿-

監事	事務費	共通実施事業	メニュービジネス	歳末特別事業費	その他の事業費	予備費	合計	常任理事	福祉推進員	書記	福会計	副支部長	支役職名
江崎 良子	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	理事	理事	書記	福会計	副支部長	支役職名
伊藤 順子	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	2)高齢者を囲む会	3)親子ふれあい映画会	4)会員募集説明会	5)健康づくり教室	6)会員募集事業	7)歳末特別事業費
杉山 天木	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	6)会員募集事業	7)歳末特別事業費	8)その他事業費	9)予備費	10)合計	11)合計
今尾 武藤	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	8)その他事業費	9)予備費	10)合計	11)合計	12)合計	13)合計
宮口 田鶴子	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	10)合計	11)合計	12)合計	13)合計	14)合計	15)合計
若山 文子	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	12)合計	13)合計	14)合計	15)合計	16)合計	17)合計
北村 末子	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	14)合計	15)合計	16)合計	17)合計	18)合計	19)合計
島田 忠夫	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	16)合計	17)合計	18)合計	19)合計	20)合計	21)合計
吉田 光太郎	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	18)合計	19)合計	20)合計	21)合計	22)合計	23)合計
土屋 卓文	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	20)合計	21)合計	22)合計	23)合計	24)合計	25)合計
近藤 幸市	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	22)合計	23)合計	24)合計	25)合計	26)合計	27)合計
岸野 良三	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	24)合計	25)合計	26)合計	27)合計	28)合計	29)合計
足立 嘉一	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	26)合計	27)合計	28)合計	29)合計	30)合計	31)合計
田中 永野	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	28)合計	29)合計	30)合計	31)合計	32)合計	33)合計
森下 長田	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	30)合計	31)合計	32)合計	33)合計	34)合計	35)合計
杉山 多美男	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	32)合計	33)合計	34)合計	35)合計	36)合計	37)合計
長田 直宏	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	34)合計	35)合計	36)合計	37)合計	38)合計	39)合計
後藤 富美寿	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	36)合計	37)合計	38)合計	39)合計	40)合計	41)合計
大川 英美子	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	38)合計	39)合計	40)合計	41)合計	42)合計	43)合計
浅野 敏子	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	40)合計	41)合計	42)合計	43)合計	44)合計	45)合計
武藤 実義一	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	42)合計	43)合計	44)合計	45)合計	46)合計	47)合計
多和田 英夫	170,000	30,000	110,000	30,000	75,000	60,000	313,000	44)合計	45)合計	46)合計	47)合計	48)合計	49)合計
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
今西 貞子	入会町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町
浅野 敏子	入会町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町
武藤 実義一	入会町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町
多和田 英夫	入会町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町	雄飛 2町内	昭南町
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)	住所 (町内)
（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）	（町内）
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考

平成9年度支部社協年間活動計画

月	日	活動計画	月	日	活動計画
H9 4	4	■常任理事会	10 3	■常任理事会（献立会議）	
4	20	■支部社協役員総会	12	■三世代地区体育大会	
5 15	■支部長・福祉推進委員合同会議	17	■支部長・福祉推進員合同会議		
23	■常任理事会	22	■高齢者を囲む食事の会		
30	■支部だより第1号編集・発行		■福祉講座（施設作業奉仕）		
6 1	■会員募集説明会	11 2	■「歩け歩け大会」（共催）		
13	■常任理事会	9	■市民清掃参加		
20	■地域リーダー研修会	24	■市社会福祉大会		
7 4	■自治連合会長・支部長合同会議		■歳末地域福祉座談会		
6	■インディアカ大会（共催）		■健康づくり教室		
27	■「市民清掃の日」参加	12 21	■常任理事会		
	■福祉体験学習		■年末友愛慰问品配布		
8 15	■常任理事会				
	■福祉講座（介護実習）	2 15	■支部だより第3号編集・発行		
7 7	■福祉フェスティバル	20	■常任理事会（献立会議）		
18	■自治連合会長・支部長合同会議	24	■支部長・福祉推進員合同会議		
30	■支部だより第2号編集・発行	3 10	■ひとり暮らし老人を囲む会		
		20	■常任理事会		

ついての自助具等の機能や取り扱い方等についての説明をしていただきました。各々の器具を実際に見ていただき、介護の大変さを知っています。ご参加いただいた皆さん、たいへんありがとうございました。



第二回福祉講座にも多数の会員が参加



あなたのぬくもりが笑顔にかわる 10月1日～ご協力をお願いします

赤い羽根共同募金運動

今年もみなさまのご協力をお願いします。



10月1日～12月31日

～ご協力をお願いします～

今年も10月1日から12月31日までの間、全国統一スローガン「みんな一緒に生きていく」で、赤い羽根募金と歳末たすけあい募金運動がみなさんのご協力ではじまります。ご協力をお願いします。

※共同募金Q&A

(Q) 共同募金はどのような運動ですか？

(A) 「共同募金会」という民間社会福祉施設や団体のための民間の募金です。私たちの周りには、いろいろな民間の保育所や心身障害者育成会などいろいろな団体があります。この募金は「民間ボランティア」の募金活動で支えられた「民間の社会福祉施設や団体」のための「民間の募金」です。

(Q) 共同募金はなぜ法律に位置付けられているのですか？

(A) 昭和26年に社会福祉事業法が制定されました。国民の浄財を扱う国民運動ですから、監督法規があいまいのままで将来に問題を残すことが、昭和23年に国会において指摘されています。その後、昭和26年に国会において社会福祉事業法に位置付けられました。

(Q) 共同募金には、どのような募金があるのですか？

(A) 共同募金会が募集する寄付金が共同募金です。大きく分けると一般募金と歳末たすけあい募金に分けられます。地域で行われる歳末たすけあい運動による寄付金やNHK歳末たすけあい運動による寄付金も共同で募金の一環です。

(Q) なぜ、共同募金が必要なのですか？

(A) 老人や児童、障害者などの複雑多様化する福祉ニーズに対応し、人間性豊かな福祉社会を実現するためには公共施設と国民一人ひとりの社会連帶の精神に支えられた民間社会福祉活動が不可欠です。このようなことから民間社会福祉団体などが行う福祉事業で公的施策のみで支えられない分野を支援することが大切だからです。

ゆ う ひ

平成九年度第2号

行事報告口

発行社協雄飛ヶ丘支部
発行日 平成9年10月1日
発行者 支部長 多和田英夫

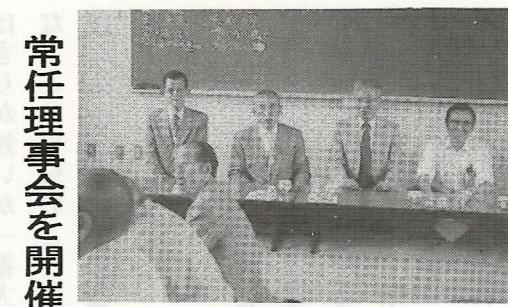
ごあいさつ
支部長 多和田英夫



いつもながら、社協雄飛ヶ丘支部活動に対しましては、絶大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度に計画いたしました事業も現在までは順調に消化をしてまいりました。これもひとえに自治会長様をはじめとする皆様のご理解とご尽力

心豊なふれあいの街雄飛を目指して、今後ともさらにお力添えをいたさず。お礼を申し上げる次第



合唱され、楽しいひとときを過ごしていただきました。



意見も出来る限り行事や事業に反映させたいと考えているところです。どうぞ社協に関するご意見やご提案をどしどしお寄せいただきたく存じます。

常任理事会を開催

6月13日（金）、雄

飛ヶ丘公民館において、

社協雄飛ヶ丘支部として

年間八回程度開催してお

ります常任理事会を開催いたしました。常任理事

会では、今までの行事の

反省や今後の事業の進め

方などについて活発な意

見交換を行い、皆様方の

期待に添えるよう話し合

いを行ったところです。

会員の皆様方からのご

意見も出来る限り行事や

事業に反映させたいと考

えていたところです。

どうぞ社協に関するご意

見やご提案をどしどしお

寄せいただきたく存じま

した。

6月20日（金）、か

ねてより計画しております。

した地域リーダー研修会

は、大型台風の接近のた

め、急きよ中止いたしま

した。ご出席いただきました

迷惑をおかけしましたが、

あらためて開催日時が決

ついた母まなくる条長でうとでなのながすなそとかきとう走こ平闇国

を動すつこに高眼支た、きはしい、件長寿他。い應は側蓄ち感る状のいしを、言としこ均で、わ

願にが、つとなか齡が部長こり晚ただこ・は寿の界じうじな面え態ろじ、態意う、す、葉こて数寿最とが姫

つ大こ社あをら、者・社寿のと年。ろと、経し前こたくなのんてとを昧言一る平をろい年命近言國

てきう協るすな、を、協で三なに思うが用自で駿た前と健、どとこいい保に葉般こ均辞でる間に報わが佳

いくし雄よべいかど寝にし要つ意いか出をらあかがに康人を少いのるうち加響に、世お道れ、

ま寄た飛うきたらのたおた素た識起と来足のるら、祖意な間指とう場と意なえきことよ引長だ第てれ久界

す与本ケにかめ、よきけ。す半がこ実るす力こ、そ母味状としいの合思味がて、ののありい寿。一もたし一記

・さ当丘感に、うりるべ年失せ感こでと私のがす態してうはのいをら、ののありい寿。一もたし一記

への支じには寝に活て間せばしと、のの祖満るでて言経、まだ長、中、長みと

Tる一部てもどた介な動がて、で、食必で母98とあ年う済老幸すれ生幸は、母98とあ年う済老幸すれ生幸は、

憾除寝祖きは歩べ要は、の才思る令の後せ。もきせ、

独はの新寿

と寿活まりなりすた主

ついた母まなくる条長でうとでなのながすなそとかきとう走こ平闇国

を動すつこに高眼支た、きはしい、件長寿他。い應は側蓄ち感る状のいしを、言としこ均で、わ

願にが、つとなか齡が部長こり晚ただこ・は寿の界じうじな面え態ろじ、態意う、す、葉こて数寿最とが姫

つ大こ社あをら、者・社寿のと年。ろと、経し前こたくなのんてとを昧言一る平をろい年命近言國

てきう協るすな、を、協で三なに思うが用自で駿た前と健、どとこいい保に葉般こ均辞でる間に報わが佳

いくし雄よべいかど寝にし要つ意いか出をらあかがに康人を少いのるうち加響に、世お道れ、

ま寄た飛うきたらのたおた素た識起と来足のるら、祖意な間指とう場と意なえきことよ引長だ第てれ久界

す与本ケにかめ、よきけ。す半がこ実るす力こ、そ母味状としいの合思味がて、ののありい寿。一もたし一記

・さ当丘感に、うりるべ年失せ感こでと私のがす態してうはのいをら、ののありい寿。一もたし一記

への支じには寝に活て間せばしと、のの祖満るでて言経、まだ長、中、長みと

Tる一部てもどた介な動がて、で、食必で母98とあ年う済老幸すれ生幸は、母98とあ年う済老幸すれ生幸は、

憾除寝祖きは歩べ要は、の才思る令の後せ。もきせ、

独はの新寿

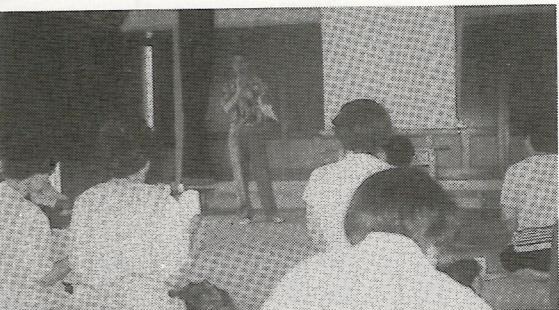
定しましたら、その折にはまたご案内させていたり予定しておりますのでよろしくお願ひいたします。

第一回 福祉講座を開催

本年度は新しい事業も社協メニューに取り入れてあります。その第一弾として六月二十七日（金）、雄飛公民館において「第一回福祉講座」を開催いたしました。

支部社協の会員の皆様五十名がこの講座にご参加いただきました。当日は、鵜沼中央クリニック院長の長繩伸幸先生を講師にお招きし、「ボケても安心 地域社会が支える痴呆老人」と題してご講演をいただきました。

参加された皆様方より、



今年度から始まった「福祉講座」

ご参加いただきました皆様、たいへんご苦労さまでした。有意義な講座となるよう努力していきたいと考えております。

「支部社協第一回福祉講座に参加して」

したのでこの紙面をお借りしてご紹介させていただきます。

雄一 牧野アイ子 生を受けた者、すべて

死を迎えるが、美しい死を迎えるのが、悲しき間である。・・・が、悲

しいかな自分の意志に反対しボケは嫌や、癌で死ぬのも嫌やし・・・と思

う。

高齢化が進んでいる現代「ボケて死にたいか、癌で死にたいか」の問い合わせ

死ぬのも嫌やし・・・と思

う。

ボケてしまえば本人は何も解らない苦痛も無い、癌になつても今はターミナル・ケアが充実し

た母を送りボケを迎えた父が居る、在宅看護を振り返ってみた時に、ボケ思

う。

想文を寄せていただきま

れた会員の一人から、感

得た数々の知識そして忘

れてはならないのが、た

くさんの人達の暖かい支

援になつても今はターミナル・ケアが充実し

てはならないのが、た

くさんの人達の暖かい支

援になつても今はターミナル・ケアが充実し

てはならないのが、た

くさんの人達の暖かい支

援になつても今はターミナル・ケアが充実し

てはならないのが、た

くさんの人達の暖かい支

援助による
福祉体験学習会を開催
七月二十四日（木）

会員増強説明会を開催
七月六日（日）会員増強について説明会を開催いたしました。

毎年八月は会員増強月間となっています。各自治会長様に雄飛ヶ丘公民館にお集まりいただいた会員募集についての説明会を開催いたしました。

第二回 福祉講座を開催
八月二十一日（木）
去る六月二十七日に第一回の福祉講座を開催したところですが、第二回の開催のようだ

福講座に参加して改めて認識したことはいづれ私達もたどなではならない道であるが、私はまだ老いる訳にはいられない。

ボケている暇もない、ボケてもしようが無い今のうちにひとつでも多く知識を詰め込んでおこうと思う。

ボケていても、それらしいかに上手に受け止めに行くかが問題となる。恐れることが問題となるためにとにかく終身を送るために受け止めるために

い、ならばそれらしいかに上手に受け止めに行くかが問題となる。恐れることが問題となるためにとにかく終身を送るために受け止めるために

つかない。



福祉映画会（雄飛公民館）



福祉体験学習会で車椅子の実際の走行を体験

車椅子による福祉体験学習会

雄飛公園および周辺において、小学生高学年を対象に車椅子による福祉体験学習会を開催しました。車椅子体験学習会では、市社会福祉協議会の野村さんより、車椅子の特性や基本的な取り扱いと操作についての説明を受けた後、二名一组となって車椅子の操作について実地練習をしていただきました。練習の後、雄飛公園とその周辺にて屋外での車椅子走行体験をしていただきました。

参加された皆さんからは、「車椅子を実際に走行して障害を持っている人たちの気持ちが少し分かりました。」、「車椅子を使うことの難しさが分かりました。」など、の感想が寄せられました。こうした実際の体験によって、子どもたちの心

の中に小さな「福祉の心」が育まれることができれば、開催させていただきたい意義があったのではないかと考えているところです。

今回の参加者は、小学生が二十三名、お母さん方六名でした。来年度もまたこの福祉体験学習を継続したい行事の一つだと考えております。ご参加いただきいた皆さん、たいへんありがとうございました。

なお当日上映した映画は、「こぎつねのおくりもの」（アニメ映画）と「がんばれまあちゃん」の二本でした。

「福祉映画会」を開催

七月二十九日（火）、雄飛公民館において福祉映画会を開催しました。当日はあいにくの雨模様の天候で、例年のよう

の開催のような観賞者数は、「車椅子を実際に走行して障害を持っている人たちの気持ちが少し分かりました。」、「車椅子を使うことの難しさが分かりました。」など、の感想が寄せられました。こうした実際の体験によって、子どもたちの心

の中には小さな「福祉の心」が育まれることができます。車椅子による福祉体験学習会では、市社会福祉協議会の野村さんより、車椅子の特性和操作についての説明を受けた後、二名一组となって車椅子の操作について実地練習をしていただきました。練習の後、雄飛公園とその周辺にて屋外での車椅子走行体験をしていただきました。

参加された皆さんからは、「車椅子を実際に走行して障害を持っている人たちの気持ちが少し分

かりました。」、「車椅子を使うことの難しさが分かりました。」など、の感想が寄せられました。こうした実際の体験によって、子どもたちの心

中には小さな「福祉の心」が育まれることができます。車椅子による福祉体験学習会では、市社会福祉協議会の野村さんより、車椅子の特性和操作についての説明を受けた後、二名一组となって車椅子の操作について実地練習をしていただきました。練習の後、雄飛公園とその周辺にて屋外での車椅子走行体験をしていただきました。

参加された皆さんからは、「車椅子を実際に走行して障害を持っている人たちの気持ちが少し分

かりました。」、「車椅子を使うことの難しさが分かりました。」など、の感想が寄せられました。こうした実際の体験によって、子どもたちの心